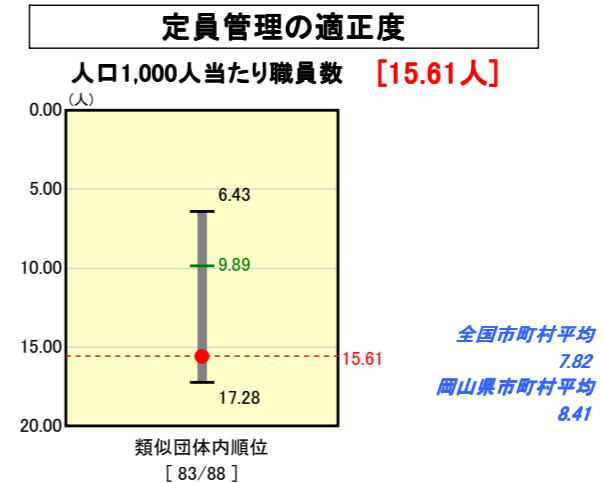
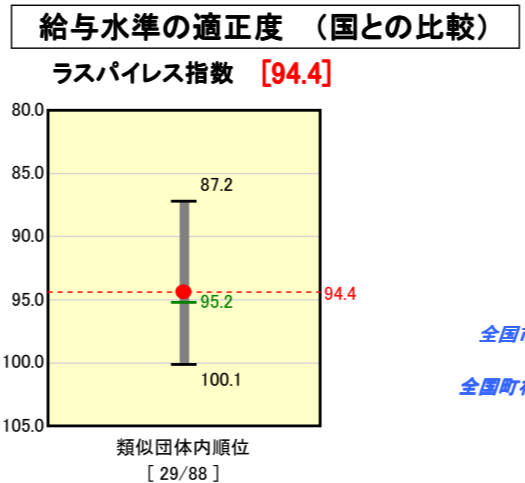
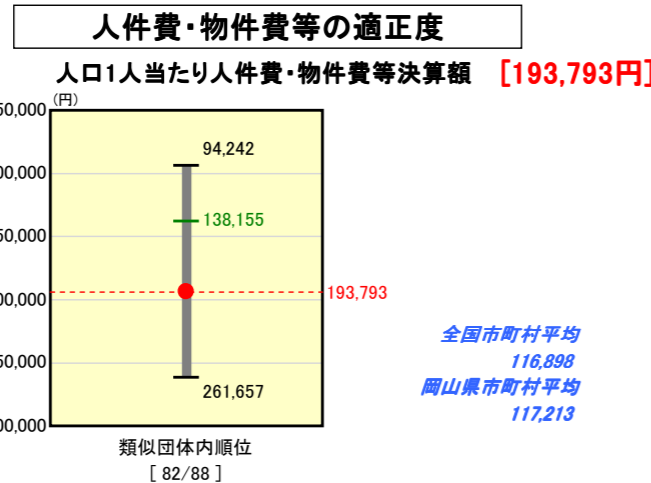
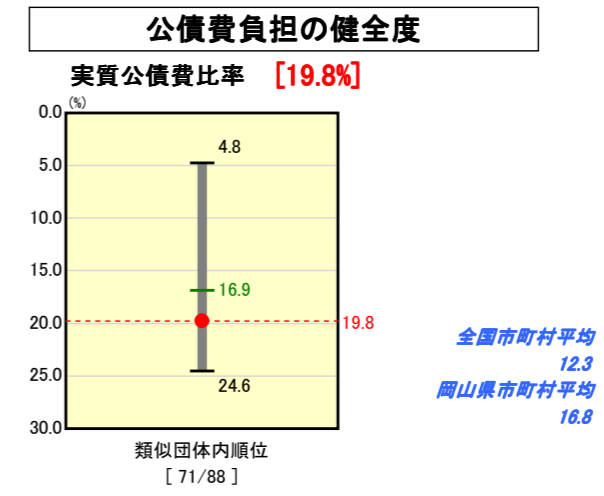
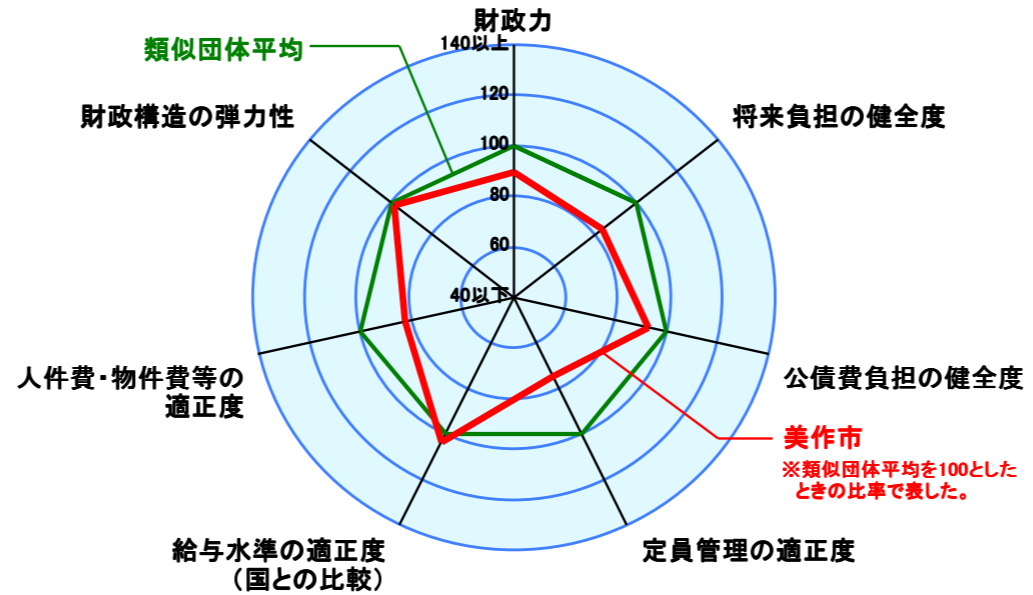
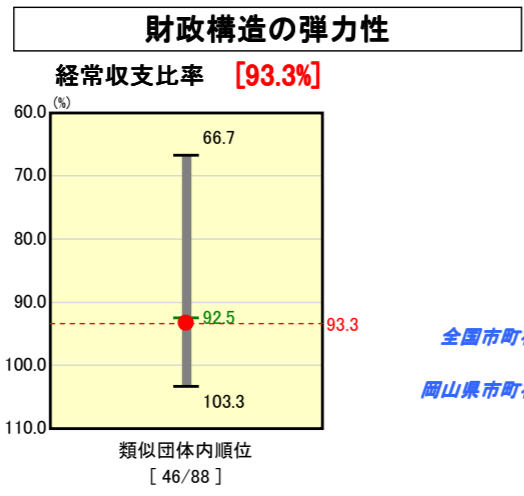
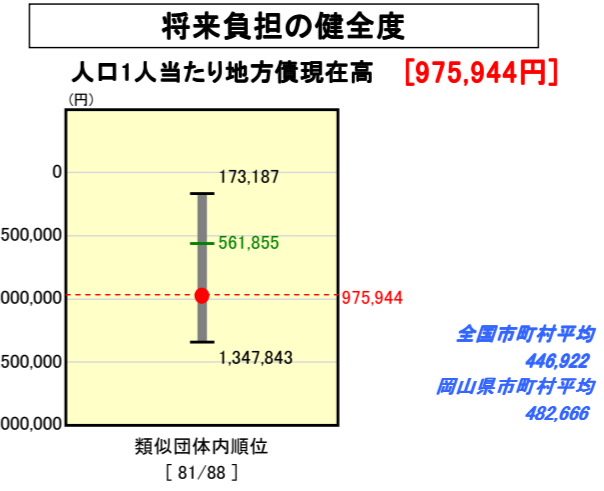
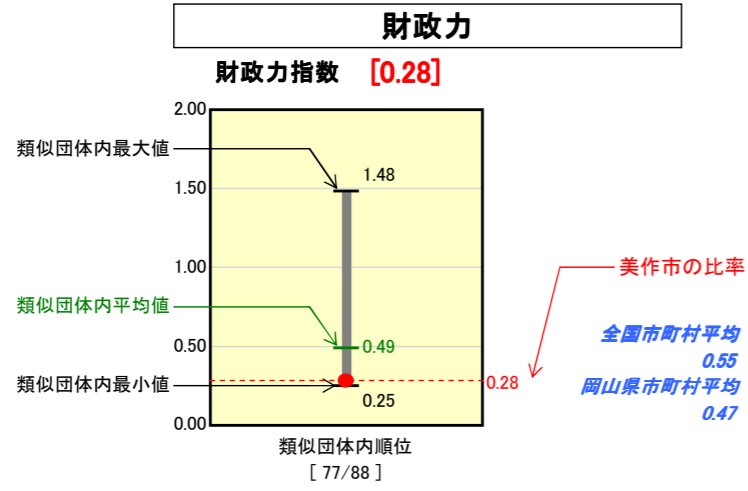


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 岡山県 美作市

人口	32,740 人(H20.3.31現在)
面積	429.19 km <sup>2</sup>
歳入総額	25,019,665 千円
歳出総額	24,226,478 千円
実質収支	791,387 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**：前年よりわずかに数値は上昇(0.01ポイント)しているが、基本的に財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。産業振興、企業誘致、地方税の徴収強化等によって歳入確保を図り、財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率**：昨年度の経常収支比率は93.6%で、本年度わずかであるが改善された。これは、強力に押し進めている行財政改革の効果の現れであると思われるが、依然高い水準にあることには変わりなく、集中改革プランに掲げている目標(平成22年度までに90.0%以下)を達成するため、より一層行財政改革を推進していく必要がある。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**：類似団体平均を大きく上回っている。主に人件費を要因としており、職員の定員適正化計画によって人件費とそれに伴う物件費のコスト低減を図っていく。

**ラスパイレス指数**：類似団体平均をやや下回っているが、今後も各種手当の見直しを行い、より一層給与の適正化に努める。経常収支比率を90%以下に低下させることを目標とする。

**実質公債費比率**：地方債現在高については、今後も高い水準で推移するものと思われるが、地方債繰上償還の実施と新規発行債の抑制によって実質公債費比率の適正管理を図る。

**人口1人当たり地方債現在高**：インフラ整備事業などに起因する多額の起債残高に加え、人口減少の影響で1人当たりの現在高が高くなっている。現在は、地方債の繰上償還の実施と新規発行債の抑制によって、地方債現在高の低減を図っているところである。

**人口1,000人当たり職員数**：集中改革プランに基づき、10年間150人を削減目標とする定員適正化計画を策定し、着実に実施している。職員数については計画よりも早いペースで削減がすすんでいるものの、同時に人口も減少しているため、数値の改善は寡少なもとなった。